

ニコニコ箱・米山奨学金・ロータリー財団報告

【ニコニコ箱】

【皆出席御祝】野村直之
皆出席御祝 / 宮崎パストガバナー様。日頃からのご指導に感謝申し上げます。(伊井彌州雄)
皆出席御祝 / 宮崎パストガバナー、卓話ありがとうございました。(石丸敦士)
皆出席御祝 / まじめに出席してるつもりでしたが初めて皆出席祝を頂きました。(前川小百合)
【誕生日御祝】佐々木輝明・佐々木知也・谷崎由美子
誕生日御祝 / いつの間にか 80 歳になってしまいました。(荒本秀一)

誕生日御祝 / 誕生日御祝、ありがとうございます。(太田洋介)
誕生日御祝 / 11月10日お陰様で70歳になります。(片岡正明)
誕生日御祝 / 台風21号で被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。(千頭和孝則)

【配偶者誕生日御祝】
木村憲一・林正岳・藤井健夫・鷺田泰紀
配偶者誕生日御祝 / 家内の健康を祈ります。(片岡正明)
配偶者誕生日御祝 / お祝ありがとうございます。今週久しぶりに家に帰って渡してきます。(武本一美)
配偶者誕生日御祝 / 「ジュエリー以外のモノが欲しい」と言われて妻への誕生日プレゼントに困っています。(土屋道照)

【結婚記念日御祝】
市橋信孝・岡田章・酒井孝・坂本安夫・中広久
本日は卓話をさせていただきます。入会後3年未満の方を対象にしました。(宮崎茂和)
最近、欠席が続きました。(伊藤仁一郎)
先週、卓話をさせていただきました。ご清聴ありがとうございました。(河合真児)

娘の日本画が日展に入選しました。東京赤坂 新国立美術館にて今月中展示しています。(菅原将高)

先日のI.M.参加させて頂きありがとうございました。(杉本正一)
本日、早退させていただきます。宮崎先生の卓話が聴けず残念です。(玉木 洋)
宮崎パストガバナー、卓話ありがとうございました。(豊島雅之)
最近、欠席が多くてすみません。(早川信之)
今年はインフルエンザワクチンが不足しています。接種される方はお早めに。(平野洋一)
恒例の宮崎先輩の卓話楽しみにしています。(吉田清二) 各君

【米山奨学特別寄付金】

宇野良二・清水盛伸・平野洋一・宮崎為夫
清水さんのお隣になりましたので。(前川小百合)
久しぶりの出席です。(村井 勝) 各君

【ロータリー財団増進特別寄付金】

石橋正人・伊藤仁一郎・浮田慎太郎・宇野良二・木下勝元・須賀原和広・細江究・松田将裕・森川圭造
財団月間に少しでも財団活動への理解を深めるよう頑張ります。(朝倉真博)
宮崎パストガバナー、卓話ありがとうございます。(油谷啓司)
城戸さんをお願いされて仕方なく…。(伊藤 島)
宮崎パストガバナー、卓話ありがとうございます。(上田祐広)
今月は財団月間です。宮崎パストガバナーの財団4つのプログラムについてよく理解した上で、引き続き財団寄付よろしく願います。(城戸利枝)
ロータリー財団は国際理解と親善と平和を促進させます。(清水慶造)

宮崎パストガバナーの卓話に感謝します。(清水正一)
城戸会員より「よかったら」と言われました。(竹内由男)
宮崎先生、卓話ありがとうございました。(長谷美左子)
本日の秋晴れのような身も心も引き締まる珠玉の卓話を今年も聞けて幸せです。(野村直之)
宮崎パストガバナー卓話、ありがとうございました。(平野洋一)
まだまだ分からない事ばかりですが、よろしく願います。(萬谷宏治)

ロータリーの奉仕のため、頑張りましょう。(宮崎茂和)
宮崎パストガバナー財団にちなんだ卓話、ありがとうございます。(村中洋祐)
宮崎パストガバナー、ありがとうございました。(山井久也)
城戸さんの熱心さに。(山内鴻之祐)
宮崎パストガバナー、卓話ありがとうございます。(渡辺和男) 各君

【寄付金の状況】

	11月2日分	累計	目標
ニコニコ箱	89,000円	1,266,000円	3,200,000円
米山奨学金	13,000円	1,063,000円	2,270,000円
R-刈-財団	63,000円	1,567,380円	2,987,000円

ありがとうございました。



現在会員数
138名

幹事報告

幹事 村中 洋祐



①次週11月9日(木)の例会は江守会員の事業所、日華化学様のイノベーションセンターに会場を移しての職場訪問移動例会となっております。ご案内のとおり、11時福井駅東口集合。11時10分に出発致しますので、時間厳守でお集まりください。見学～例会終了し13時10分にジャルダン出発。福井駅東口の到着は13時半ごろを予定しております。

ビジター受付

- 11月13日(月) 福井東 アオッサ1F入口付近
 - 11月16日(木) 武生府中 JA越前たけふ会館
 - 11月22日(水) 福井北 ザ・グランユアーズホテル 豊穰殿入口
フクイ 1階正面玄関
 - 11月24日(金) 福井西 バードグリーンホテル 正面玄関入口
 - 11月24日(金) 三国 三国観光ホテル フロント
 - 11月28日(火) 福井南 織協ビル正面玄関
 - 11月28日(火) 武生 武生商工会館1階
 - 11月30日(木) 福井水仙 福井パレスホテル1F
- 18:00-18:30

事務所 〒910-0006 福井県福井市中央1丁目3番1号 加藤ビル5階 TEL:0776-25-0633 FAX:0776-24-8622
例会会場 ユアーズホテルフクイ4F TEL:0776-25-3200 例会 毎週木曜日12:30~13:30
クラブ会報委員会 委員長:谷崎由美子 副委員長:伊藤 彰
委員:中広 久・佐々木輝明・土屋道照・千頭和孝則・中島康志・角谷恒彦
ソングリーダー:チーフ:野尻章博 山本啓史・村井 勝・木村憲一・木瀬雅博・吉村千春・渡辺崇嗣
ホームページ http://www.fukui-rotary.com/ E-mail info@fukui-rotary.com
創立 1950年(昭和25年)10月15日 RI承認 1950年(昭和25年)12月4日(承認NO.7647)



ROTARY CLUB of FUKUI

R.I. District 2650 2017-2018 Weekly Bulletin 2017年11月9日 第2353号(創刊2509号)



ロータリー: 変化をもたらす

R.I. 会長 アイアンライズリー
R.I. 第2650地区ガバナー 田中 誠二

福井ロータリークラブ会報

2017-2018年度
R.I.テーマ:変化をもたらす
地区スローガン:愛着と誇り

理事	監事	役員補佐
会長 平野 洋一	副会長 藤井 健夫	副幹事 森川 圭造
副会長・会長エレクト 渡邊 義信	監事 片岡 正明	副会計 朝倉 真博
直前会長 佐々木知也		副会場監督 油谷 啓司
幹事 村中 洋祐		副会場監督 市橋 信孝
会計 浅井 正勝		
会場監督 上田 祐広		

本日の例会

2017年11月9日
第3304回

職場訪問移動例会

11時30分~12時10分

日華化学(株)イノベーションセンターにて

江守会員卓話及び館内見学

12時20分

開会点鐘

会長挨拶

委員会報告・幹事報告・その他

13時00分

閉会点鐘



今後の予定

- 11月16日(木) 大分RC来福 合同例会
- 11月23日(木) 休会
- 11月30日(木) インターアクトクラブ活動報告
- 12月7日(木) 栄誉行事/ゲスト卓話
- 12月14日(木) 年次総会

11月は「ロータリー財団月間」です。

— 私たちからの寄付が世界でよい事を行う財団のあらゆる善行を支えている —

〈次回の例会〉2017年11月16日(木)

■ 会場:ユアーズホテルフクイ
■ 大分RC来福 合同例会

■ 開会点鐘: 12時30分
■ 閉会点鐘: 13時30分

例会報告 2017年 11月 2日 第3303回 例会

出席報告

● 現在会員	138名	● 例会修正出席率
● 出席者	83名	
● 欠席者	48名	
● 出席免除者欠席	7名	
● 今回例会出席率	63.4%	
● 修正出席率	81.5%	

● **メークアップ** 清水慶造 (10/29 地区 RLI パート III)、木村憲一 (10/31 福井南) 各君

会長挨拶



会長
平野 洋一

今月はロータリー財団月間であり、本日は2650地区の財団の総責任者でもあられる宮崎パストガバナーに卓話をさせていただきます。また、宮崎先生はポリオ撲滅に向けこれまで世界中を回っておられ、このほどそのご功績に対する「ポリオのない世界のための奉仕賞」の表彰を受けられました。表彰盾を回覧させていただきます。さて、先週はアオッサで福井北クラブ主催によるI.M.がありました。午前中に県下19クラブの会長会議がりましたが、すべてのクラブが集うことで福井RCの位置づけを改めて理解される機会となりました。福井RCは会員が138名もいるのですが、多くは30名~50名のクラブです。鯖江北RCなどは14名しかおられません。このク

ブが12月いっぱい鯖江RCと合併することとなりました。会長のお話によれば、「頑張ってきたけど、もうここが限界」とのことでした。また、敦賀西RC(18名)の会長についても、「いずれ敦賀RCと一緒にになりたい」とおっしゃっておられ、将来的にはそうなるのかもしれない。ロータリークラブもこれまで会員増強、クラブを増やせということでしたが、人口減少という時代の流れのなかでこういう動きも致し方ないのかなと思っただ次第です。その点、福井RCは別格で、会員増強も図れ、多くの会員のもとボランティア活動も含めていろいろな行事ができます。しかしながら、今回のI.M.で小さいクラブは、ほぼ全員登録であったのに対し、福井RCは半分以下、一番低い登録率でした。もっと纏まり一つになって動かなければなりません。138名が結束して福井のロータリーのオピニオンリーダーの役割をしっかり果たしていくことが私たちの使命だと思っておりますので、みなさんもそういう思いでいてくれればありがたいです。

栄誉行事

皆出席御祝

野村直之会員(6年)・伊井彌州雄会員(4年)
石丸敦士会員(2年)・前川小百合会員(1年)

会員誕生日御祝

荒本秀一会員・太田洋介会員・片岡正明会員・田中秀也会員
佐々木知也会員・佐々木輝明会員・辻恵利子会員
千頭和孝則会員・谷崎由美子会員・笹木竜三会員

在籍御祝

片山 元会員(5年)
畑下徳洋会員(5年)



配偶者誕生日御祝

荻原昭人会員・林 正岳会員・開発 毅会員・土屋道照会員
片岡正明会員・藤井健夫会員・山本 宝会員・鷺田泰紀会員
木村憲一会員・若下春幸会員・白江文夫会員・武本一美会員
前川小百合会員

結婚記念日御祝

坂本安夫会員・田中秀也会員・野尻章博会員・岡田 章会員
市橋信孝会員・安東秀哲会員・今村善孝会員・中広 久会員
畑下徳洋会員・山本啓史会員・梅井啓介会員・若下春幸会員
林 洋三会員・中山浩行会員・酒井 孝会員・平谷美智夫会員



委員会報告

職業奉仕委員会 大森 正男 委員長



11月9日(木)は職場訪問移動例会です。日華化学イノベーションセンターへの職場訪問例会についてご案内します。
・11:30~12:10 イノベーションセンター1階において江守社長の卓話並びに館内見学(2班に分けて)

・12:20~13:00 ジャルダンにおいて例会食事
・11:10に福井駅東口から送迎バスが出ます。11:00までにはお集まり下さい。お車の方はジャルダンの横に20数台の駐車がありますのでご利用ください。それでも駐車場の無い場合、大森歯科医院前駐車場(福井大学前10台程度)をご利用いただければ結構です。なお、できるだけバスをご利用ください。

委員会卓話(ロータリー財団委員会)



宮崎 茂和 パストガバナー

演題
「ロータリー財団プログラムについて」

ロータリーでは、11月は「ロータリー財団月間」と決められていて、ロータリアンとして、またクラブとして特に財団についての理解を深め、活動(寄付とプログラム実施)することを考えることになっていきます。たまたま私は、福井RCの中で45年間育てられ、国際ロータリーやロータリー財団で直接いろいろと活躍させて頂きましたので、当クラブでの今日の卓話にご指名があったのではないかと思います。

● **ロータリーのあらまし**
財団はロータリーの目的・使命に基づいて、人道的・教育的プログラムを推進していますが、これを通してロータリーは人を作ります。即ち、ロータリーは理念に基づいて奉仕をする人を作る団体であり、そのための自己研鑽があり、これは例会から始まりです。だから例会に出席することが非常に重要なこととなるわけで、具体的には会員はまずロータリアンとしての親睦を(Friendshipではなく、Fellowship)深めながら、職業奉仕の概念を念頭に置き、他人に喜ばれ、他人から親しまれ、少しでも地域社会が良くなっていくような奉仕が出来る人を育てることになります。

● **財団の父:アーチクランフ**
さて、このような奉仕をする時に、財団が強力な補助をしてくれることは皆さんご承知の通りです。若しこの財団の存在がなかったら、今日のロータリーはなかったであろうとも言われるくらいです。その誕生は1917年6月18日、アトランタで行われた第8回ロータリー年次大会で、時の会長アーチ・クランフさんが「世界でよいことをするための基金を作るのが極めて適切である」と演説し、基金を設立、この基金の最初の寄付は、ポールハリスがRI会長になられた時の余剰金26ドル50セントを、カンザスシティRCが行ったものでありました。したがって、昨年度の2016~17年は財団創立100周年を迎え、国際大会は100年目にアトランタで行われたこととなります。

● **財団のプログラム**
2010年以前のはスケールが小さく、その効果は薄く、ロータリーのイメージを高めるのに非常に弱体で継続性が乏しく、単発の線香花火のような存在であったのですが、財団は2010~13年、未来の夢計画として大改革を行い、簡素で実効があるものになりました。そのパイロット事業に世界で100地区(日本では6地区)、当地区もこれに選ばれ参画、大活躍しました。これは2650地区の歴史の中で初めてのことであり、一つの金字塔を打ち立てました。私自身もRRFC(Regional Rotary Foundation Coordinator)として、また地区財団委員長として働かされたこととなります。

● **プログラムの比較**
スケールが大きくて継続性があり、したがって効果が測定できてロータリーのイメージ向上に非常に役立つものとなり、2013年以降の無駄のない財団プログラムへと移行しました。この計画は、アメリカで「エジソン賞銀賞」の評価をされるまでになりました。ここで新地区補助金というのは、6つの重点分野に制約されることなく、総額30,000ドル以下の、主としてクラブの社会奉仕に国内・外に使われます。例えば、福井RCのガム取り大作戦のようなものです。

一方、グローバル補助金は、総額30,000ドル以上のスケールの大きいプロジェクトで、国外で使います。これには6つの重点分野に制約されたプロジェクトに用いるもので、教育的プロジェクトとして基本的教育と識字率向上、奨学生、VTT等があり、人道的プログラムが圧倒的に多くなります。

● **VTT**
ここで一つのプログラムを紹介します。VTTです。ロータリーの基本的な原点、職業奉仕の概念から発想されたロータリー独特のプログラムで、このチームは専門職の40才以下くらいのメンバー3~4名と、チームリーダー1名(ロータリアン)で編成され、地区補助金でもグローバル補助金でも、プロジェクトの総額に

よって選択は異なりますが、よく行われるプロジェクトであります。福井RCのインドネシアでの奉仕も、2650地区のEクラブが行ったVTT(水の専門家チーム)から派生したプロジェクトです。そのチームの調査に基づいて、1つの地域に福井RCが農業用水、京都嵯峨野RCが生活用水を担当して行われたものであります。このようにロータリーは我々の地域のみでなく、世界的な広がりでも奉仕をすることが出来る、というのが魅力です。

● **当クラブのプロジェクト**
実際の事業ですが、援助したのが福井RC、受領したのがジョグジャカルタのマタラムRCです。私達のロータリーというのはすごい、と思いませんか。京都嵯峨野RCの生活水の事業と、福井RCの農業用水とを合わせると、6つの重点分野のうち4つをクリアしてグローバル補助金の配分条件を全部クリアし、継続性があり測定可能な効果がみえています。更にこのようなプロジェクトは他の地域でも行うことが可能になりますし、何よりもロータリーのイメージを高揚します。地区補助金、グローバル補助金を用いて私達の寄付を生かしていく、それが私達の使命であります。福井クラブも毎年このようなプロジェクトを前々年度、少なくとも前年度から計画して、ぜひ毎年行って欲しいと思います。

● **その他のプログラム**
これらの補助金プログラムとは全く別に、この2つがあります。
● **ポリオ**
まず一つは、世界からポリオ(小児麻痺)を追放することであり、私も中国、ミャンマーを含む南太平洋、西南アジアの各国・各島へ合計8回、現地でのミッションに参加しました。

● **ポリオプラスプログラム**
このプログラムはRIが1985年、フィリピンでの3Hプログラム(Hunger・Health・Humanity)として初めたものを1988年TRFに移し、「世界中からポリオを追放する」と、世界中にアナウンス、これを約束しました。1988年に1年間の発症者が35万人だったのが、なんと現在では9人になっていて99%以上、目的を達成していることとなります。皆さんも1人のロータリアンとして、ロータリーがポリオをフリーにしたと宣言するまでに、投与するワクチンの費用としてポリオプラスへの寄付をしたんだ、という実績を是非作っておいて下さい。宜しくお願いいたします。

● **平和フェローシップ**
次いで平和フェローシッププログラムです。ロータリー財団は2002年、「世界平和」この夢が叶えることができる世界の有名大学を選び、この協力のもと、平和及び紛争解決の分野に於ける国際問題解決のためのロータリー平和センターを6カ国に作り、この分野での修士号取得(今では博士号取得になっている)を目標に始めたプログラムです。ロータリーの目的の大前提は世界平和の実現であり、これに向かっの直接的なアプローチになります。

● **平和センター**
平和センターは、日本に1つがあり、東京・三鷹にあるICU(国際基督教大学)が指定されています。夫々の奨学生(学友)はLocationの表を見てもわかるように立派に活躍しています。

● **学友の活動分野**
これは財団のグローバル補助金が全く違うルート(ロータリー財団・日本財団)から、学費・住居費・交通費などが支給されています。活躍分野を見ていただくと理解されると思いますが、昨年の地区ロータリー財団セミナーでもNHKやWHOの現場で働いている女性3名から生々しい話を聞かれた方がこの中にもいらっしやと思います。

● **終章**
以上、本日はロータリアンの理念から発する奉仕の理想、これを実現している財団プログラムの極く概要について話をさせていただきました。ロータリーってこんなに素晴らしいことをやっていて、自分はその一員であることにステータスとプライドを持って頂きたいと思えます。次回は、これらのプログラム実現のための資金、即ち私達の寄付と寄付の使い方について話したいと思います。ご期待下さい。最後にお願ひです。このような素晴らしい財団に、本日はぜひ記念としてご寄付のほど、宜しくお願いします。